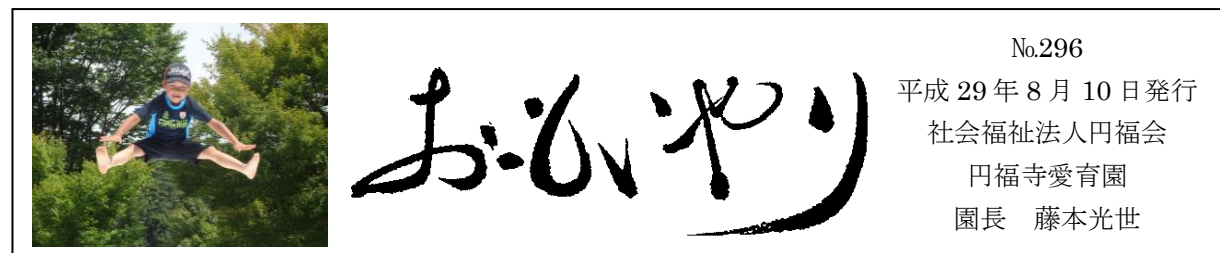


<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

みんなで国営アルプス安曇野公園に行きました。マシュマロドームの上のジャンプです。



雨で流れた球技大会

園長 藤本光世

7 月 23 日は円福杯球技大会野球の部でした。趣旨に賛同して下さった、地域の少年野球の 3 チームが参加します。当園の出場選手は円福寺愛育園少年野球チームです。愛育園の子と、地域の子が一緒になってチームを作りました。熱心に指導して下さる日詰コーチのもとで毎週水、金、土、日に練習しています。練習会場は西横田グラウンドと円福寺愛育園体育館です。毎日の練習のお手伝いは部活がない中高生がしてくれます。小さい子どもたちの為に、大きな子が働いてくれて、偉いなあとします。

大会会場は、西横田グラウンドです。広いグラウンドで、野球グラウンドは二面とることができます。前日の夕方には、中高生がトイレ掃除をしてくれて、グラウンドを整備してくれました。ダイヤモンドに生えた草をとります。掘れて削れたバッターボックスを平らにします。長い巻き尺を使って白線を引きます。ファールラインやデッドライン、ウェイティングサークルなどが引かれて、横田グラウンドの二つのコートは試合を控えた立派な野球場になりました。

夕食は調理の先生がカツ丼を作ってくれました。明日の必勝祈願です。中高生男子が応援をします。応援団長は高校 1 年の S 君。副団長が中学 3 年の H 君と中学 1 年の N 君です。後ろに団員が整列しました。「みんな、明日の大会は頑張ってください。全力で戦ってください。」「フレー！フレー！」と大きな声が食堂に響きました。

選手一人一人が明日の決意を言いました。愛育園が一丸となって、試合に向かう体制ができました。

当日になりました。早朝は雨はなかったのですが、朝食後の 7 時過ぎには本降りになってしまいました。夏の雨ですから、すぐに止むだろうと高をくくっていたのですが、ますます激しくなります。天気予報も一日中雨マークです。仕方ありません。監督会議を開いてもらって、中止を決めてもらいました。

雨の中を参加して下さったチームの皆さん、ありがとうございました。

さあ、後片付けです。大会が雨で流れてみんな残念な気持ちです。そんな気持ちを吹き飛ばすように、本降りの雨の中を中高生の子どもたちは率先して後片付けをしてくれました。立派な振る舞

(平成 29 年 8 月 10 日発行 月刊「円福」493 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

いにありがたかったです。中高生が準備から後片付けまで、試合の有無にかかわらず一生懸命にやってくれる姿が、試合がなかったグラウンドに美しい花となって開いていました。

中高生の皆さん、ありがとう。

夏休みには戸隠キャンプがあります。キャンプの準備を通して、子どもたちの楽しみにしている姿が伝わって来ています。

第 2 回 円福杯球技大会

副園長 青谷 幸治

昨年に引き続き第 2 回円福杯球技大会を計画しました。今年は、円福寺愛育園少年少女野球団も発足し自分たちのチームの主催として選手も気持ちが入り、練習してきました。前日には中高生の応援で壮行会も行い準備万端でした。しかし当日は雨。結果的に中止を余儀なくされました。選手は皆ショックでしたが雨に中でのアップやキャッチボールは今までにないぐらいの声も出ており試合に向かう姿勢を感じました。今回は中止になりましたが、選手の気持ちも考え、秋に再度開催できればと思います。それまで選手の皆さん練習を頑張っ心と身体を鍛え、技術を身につけてほしいと思います。参加チームの皆様、後援会の皆様、その他応援していただいている皆様には大変申し訳ございませんでした。ぜひ次回の開催を盛り上げていただければと思います。よろしくお願いします。

第二回 円福杯球技大会

あおぞら保育士 富沢正樹

7 月 23 日、第二回の円福杯球技大会が行われる予定だったのですが、当日は、雨が降ってしまい、ぎりぎりまで協議をしたのですが、残念ながら中止となってしまいました。

4 月に円福寺愛育園少年少女野球団が発足されて、週 4 回の練習を行ってきました。選手は低学年の男の子、女の子が多いのですが、投げ方、捕り方が発足当初に比べて格段に上手になりました。これまで練習試合や大会にも参加してきている影響か、試合に出たい、活躍したい、勝ちたい。と、低学年であっても、気持ちを持って活動していたので、円福杯の中止は、とても残念でした。

また、小学生の為に、この大会の会場設営や、ライン引き、草刈り、壮行会での応援団結成と、中高生の男の子達が本当に頑張ってくれました。

選手みんなには、本当に色んな人が支えてくれて野球が出来て、大会も出来る事を忘れずにプレーして欲しい事を伝えていました。小学生、中高生の為にも、年度内に大会を開催できるように計画していきたいと思います。

第 2 回円福杯球技大会 野球

栄養士兼調理員 原 未華

7 月 2 3 日に第 2 回円福寺野球大会が実施されるということで前日の夕食は壮行会メニューをさせていただきます。壮行会メニューはゲン担ぎとして、「カツ丼、スペシャルサラダ、ジュース」

です。

私たち調理も「試合に勝って優勝してほしい」気持ちはもちろんのこと、「全員で助けあってほしい」「ケガなく、フェアプレーをしてほしい」「野球をとことん楽しんでほしい」などさまざまな思いを込めながら作りました。

壮行会はみんなの前で選手の子どもたちが翌日の大会に向けて1人1人が決意を發表しました。その姿見て本当に立派だと思いました。また、中高生の男の子たちが少年野球の子たちに向けてエールをおくったり、応援歌を歌ってくれました。一生懸命な姿に感動しましたし、「明日、頑張してほしい」という気持ちが強く伝わりました。見ていた選手の子たちも勇気つけられたと思います。よりいっそう大会への意欲が高まったのではないかと思います。

夕食後にある男の子と女の子それぞれから「明日、頑張ってくるから、調理の先生も応援してね。」と笑顔で言ってくれたので、「もちろん、応援するよ。」と答えました。本当に頑張してほしいと心の底から思いました。翌日は天気が大会日和になってくれることを願うばかりでした。

子どもたちには一生懸命練習した成果を十分に發揮してほしいことと、1人1人が野球を楽しんでくれることを思いながら、全員で勝利を手にももらいたいと感じました。

大会当日は残念ながら雨が降ってしまい、試合はできませんでした。しかしこれからまだ練習試合や大会があると思うので日々の練習を大切にして、個々の技術もそうですが、ずっと野球を好きでいてくれること、チームの絆がより強くなるよう、さらなる活躍を楽しみにしています。私たち調理も陰ながらではありますが、いつも応援しています。

国営アルプスあづみの公園

副園長 青谷 幸治

7月15日に愛育園の全体行事で国営アルプスあづみの公園に行きました。とても暑い日でしたが、子どもたちはマシュマロドームで飛び跳ねたり、アスレチックを駆け回ったり、芝生でサッカーをしたりととても元気で汗をかきながら身体いっばいに自然を感じ、遊びました。職員も子どもたちに負けず駆け回っていま



した。先生方が童心に帰って一生懸命遊ぶ姿が子どもたちの心を引き付けていました。お昼はBBQです。中高生が手早く作り、幼児さんや小学生に振舞っていました。午後は皆で池にも入りました。(遊泳OK) ずぶ濡れになりながら子どもも職員も楽しみました。大人から子どもまで、自然を満喫した一日になりました。現地のスタッフの方から、中高生が手際よくテントを張ったり、BBQコンロを並べたりしている様子をみて感心されていたようで、その報告を聞いて今では当たり前を感じていたことを改めて嬉しく思い、中高生の頼もしい姿を実感した日でもありました。

安曇野公園

主任保育士 石崎 早織

7月15日は今年度始まって初めての園外での行事がありました。ここ最近中高生は部活やバイトが活発になってきているおかげで、外に出る行事が減ってきてしまっていました。そのため、今回の行事は子どももちろんですが、私自身も楽しみにしていました。当日はみんなでバスに乗り目的地むかいました。久しぶりの行事だったので、子ども達もすごくウキウキしており、「公園に着いたら何して遊ぼう♪」「先生も一緒に水遊びする～？」など到着を今か今かと楽しみにしており、その表情を見るだけでも嬉しい事が伝わってきました。目的地に着くとみんなで昼食に使うBBQの道具や食材を手分けして運びました。BBQ広場までは結構な距離があり、少し心配していましたが、さすが愛育園の子ども達。あおぞら中高生を中心に、小学生も自分に出来る事を探し、みんな



で一気に荷物を運ぶことが出来ました。その後は各グループに分かれ、活動開始です。私は小学校高学年チーム担当でした。みんな体力もあるので、おもいきり体を使って遊ぼうと思う反面、自分の体力が持つのか心配でしたが、子ども達にはまだまだ負けてはいられないと思い、全力で遊びました。最近はこちらまで全力で遊ぶことが出来ていなかったもので、楽しい時間を一緒に過ごすことが出来て良かったです。また午後の水遊びも全力で水の掛け合いをしたり、子ども達とおもいきりはしゃぎ、いっぱい笑い合う事が出来ました。やっぱり行事っていいな……。と改めて感じました。次は8月に行う戸隠キャンプです。最高のキャンプになるよう子ども達と協力し、今から準備を始めていきたいです。

バーベキュー大会 in あづみの公園

7月15日、国営アルプスあづみの公園にバーベキューをしに出かけてきました。

児童、職員合わせて40人以上の大人数で行きましたが、中高生の男の子たちが様々な場面で大活躍してくれました。

まずバーベキューの道具は全て園か



あおぞら保育士 富沢正樹

ら持っていったのですが、40人分ですから大変な量で、一人一人が両手にたくさんの荷物を抱えてバーベキューエリアまで運んでくれました。

そして、荷物を運ぶと、素早い動きで、タープをひろげ、折り畳みの机や椅子をセッティング

し、バーベキューコンロの組み立ても完璧で、ものの5分くらいで準備を完了してしまいました。

そのあとは、公園内で各自遊具遊びをしたり、サッカーをしたのですが、お昼前には、小学生より一足早く遊びを切り上げて、バーベキューの火おこしをしてくれました。コンロは5つ持っていきましたが、自然とそれぞれのコンロの責任者が決まっていき、火おこしが終わった後も、肉を焼くコンロ、



野菜を焼くコンロ、焼きそばを作るコンロ。というように分担して、自分が食べるのをそっちのけで、みんなの為に働いてくれる姿がありました。私はとても驚きました。積極的にお手伝いをしてくれる事はわかっていましたが、事前の打ち合わせもないのに、まさかここまでの確に動けるとは思っていなかったもので、手の足りない所に自然とフォローが入ったり、時間に合わせて「いただきます」ができるように効率よく、その場で役割を決めていく姿を見て、自立の力がついてきている事を実感しました。そして、やっぱり日々の生活がこういった力を育んでいくのだと思いました。

8月には愛育園キャンプがあります。また子供たちの良い姿がたくさん見られると思います。私たち職員もしっかり準備していきたいと思います。



国営アルプスあづみの公園

あおぞらホーム 保育士 近藤誠志郎

7 月 15 日、園内行事として子どもたちと国営アルプスあづみの公園に、B B Q、公園遊びに行きました。あおぞらホームの男の子は、当日に部活動やアルバイトがなく、体調も崩す子もおらず、全員が参加することができました。当日は天気も良く、夏らしい日差しの強い暑い日となりました。公園に到着し、午前中は年齢ごとの班に分かれての公園遊びです。私は小学校低学年班の担当でした。子どもたちは公園内にある大玉やマシュマロドームに大興奮で、投げたり転がしたり跳ねたり走り回ったりと様々な遊びをしました。あつという



間に時間は過ぎ、お昼ご飯の時間になりました。B B Q会場に行くと、既に中高生の子たちが火を起こしてくれていて、すぐにでも焼き始めることができる状態でした。肉を焼いて、焼きそばを焼いて、みんなおいし

そうに食べていました。暑い中でも中高生が一生懸命、焼いている姿は頼もしく思えました。B B Qが終わると、じゃぶじゃぶ池での水遊びのスタートです。子どもたちは最初、おそろおそろ水の中を歩き「つめたーい」と言っていました。だんだん水に慣れていくと水の中で大はしゃ



ぎです。肩や顔までつけて泳いだす子や、他の子と水をバシャバシャとかけあう子、昆虫やカエルを捕まえる子など遊び方は様々でしたが、みんなとても楽しそうでした。中にはなかなか池に入って遊ぼうとせず、水辺で見ている子もいましたが、他の子たちがそれを見て、池の中に引きずり込んだりと、みんな楽しそうに遊ぶ姿がありました。水遊びでも時間はあっという間に過ぎ、帰りの時間となりました。中高生の子たちを

中心として、てきぱきと後片付けをし、無事大きなけがをする子もなく園に帰ってくることができました。

今回の行事に参加し感じたことは、このような行事では中高生が一生懸命いろいろなことに協力してくれ、それが楽しい行事に繋がることです。B B Qの準備や後片付け、出発前の荷物の詰め込みや、園に帰ってからの後片付けを協力的にしてくれているおかげで、今回のような楽しい時間になったと思います。また、普段はおとなしめの中高生が水遊びで大はしゃぎしていたのも印象的で、いつもと違った新しい一面が見れて良かったです。いよいよ私にとっては初めてのキャンプがやってきます。今回のように子どもたちの様々な面を発見していきたいです。

あづみの公園

調理主任 伊藤 慈子

7 月 15 日（土）に、みんなで初めて『アルプスあづみの公園』に、大型バスに乗って行ってきました。遊ぶところがいろいろあって、B B Qもできる場所だと聞いていたので、子ども達はとても楽しみにしていました。

当日は、とても天気が良く日差しの強い日でしたが、子ども達はそんなことは気にもせず、わくわくドキドキ、早く遊びたくて仕方がない様子でした。バスからみんなで分担して荷物を運び、B B Qの場所を取り、荷物を下ろし、注意事項を聞き、中高生はB B Qの準備をしてから遊びへ、小学生は待ちに待った外遊びをすることになりました。私も小学生チームに加わり、遊びました。子ども達のうれしい楽しい笑い声と、明るく元気に動き回る姿がほほえましく、私も元気をもらいました。とても暑く、汗をたくさんかくので、水分補給が欠かせませんでした。転がったり、転がさ

れたり、大きなボールを投げたり、投げられたり、大きな柔らかい白い山に登ったり、ジャンプしたりして楽しんだ後、移動をシアスレチックでたくさん遊びました。私は、子ども達の楽しんでいる姿を写真に撮りました。



みんなとてもいい笑顔でした。

あっという間に時間が過ぎ、もうすぐお昼です。みんなで元の場所に戻ると、中高生により、BBQの準備が出来ていました。私も、他の調理員さんと、BBQの手伝いをしました。新しく買って頂いたBBQコンロは5台あり、それぞれでウインナー・鶏肉・豚肉・牛肉・焼そばを焼

きました。暑い中、中高生と職員で、熱い思いをして焼いてくれたお肉や焼そばは、とても美味しく食べて楽しく食べる事が出来ました。気候が暑過ぎて、思ったより食べられませんでした。午後の水遊びのための栄養補給になりました。

子ども達とホーム職員は、濡れてもよい服に身支度をし、「だんだん池」などの場所で、思いっきり水遊びを楽しんでいました。小さい子も大きい子も、ホーム職員も一緒になって楽しんでいました。思ったより水は冷たくなかったようですが、服を濡らしながら遊ぶ事が、非日常的



でとても楽しかったようです。

たくさん楽しんだ後は着替えて、それぞれ分担し片付けます。中高生・職員はBBQコンロや、タープやイス・机など大きい物・危険な物の片付け、小さい子は周りのゴミ拾いをしました。来た時よりもキレイに！！が、愛育園の片付けのモットーです。みんな小さいゴミも一生懸命拾っていました。駐車場までの荷物運びも分担して、とても良くできました。

初めての行事でしたが、怪我もなくみんな元気に楽しんで帰ってくる事が出来、とても良かったです。みんなにとって、いい思い出になりました。ありがとうございました。

児童感想

・あづみのこうえんにいきました。みずあそびをしました。およぎました。たのしかったです。またいきたいです。バーベキューをしました。いっぱい食べました。おいしかったです。(小1 S・N)



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

- ・今日はあづみの公園でBBQをしました。最初に荷物を運んで中高生たちがBBQをやっている間私たちは公園で遊びました。その中で一番楽しかったのは、マシュマロドームです。二つ繋がっていて楽しかったです。帰ってみるともうお肉の準備が出来ていて、食べてみたらとてもおいしかったです。



午後は水遊びをしました。いろいろな池がありました。楽しかったです。(小4 R・S)

- ・今日はあづみのアルプス公園に行きました。水遊びやバーベキューをしました。今回私が一番大変だと思ったことは、荷物運びです。中高生男子が中心にしてくれました。バーベキューの準備もほとんどしてくれました。その間に私たちはマシュマロドームや、大きなボールで遊びました。木で作ってあるアスレチックも楽しかったです。バーベキューはとてもすばらしいほどおいしかったです。水遊びは滑り台があったり、ボールがあったりして、楽しかったです。また行ってみたいです。(小5 M・M)

ハンドボール部に入部して

「辞めたい」これがハンド部に入部して思ったことです。正直言ってしまえば毎日厳しい練習をし、辛くてさばろうと考えたことも一度や二度ではありません。また技術面でもうまいかない事

(平成29年8月10日発行 月刊「円福」493号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

が多く周囲からの目線が本当に痛いです。そして人間関係。うまく出来なければ怒られる。それは誰でもありますが、私は特に苦手なのでその分怒られる回数もたくさんです。なので周りは私とペアを組んで練習をしようとする人がいません。こんなことを自分で書くのは悲しいですが、これが現状だから仕方ありません。でもここでもし私が辞めてしまえばそれはそれでできっと後悔するんだろうなと考えています。強いチームに入れば厳しいのは当たり前。出来なくて周囲に迷惑をかければ一緒にやりたくないのは当たり前。ならこの2年間をかけて精一杯取り組み辞めてしまいたいという気持ちを、今度は仲間と一緒にやりたい！という方に考えたいです。また引退した先輩たちにも見てほしい自分の姿があります。それは先輩たちの最後の試合で負けた時、最後の最後まで全力を出し切ってお互いを支え合っていた姿は、負けていてもものすごくカッコいいものでした。自分がそうなるまでにはかなりの時間がかかるけど、まだ時間はあるので、その中でも自分の思い描いた姿が見せられるように頑張りたいです。そして自分の部活道具を買ってくれた園長先生、心の支えになってくれている先生に感謝することを忘れず、顧問の先生の言う事をよく聞き、自分で選んだハンド部を後悔のないようやり遂げ、社会人になった時、自分にとっての大きな自信に繋がりたいです。(高1 R・A)

